

平成15年度

長崎県果樹試験場業務報告

平成16年 9月

長崎県果樹試験場

平成15年度長崎県果樹試験場業務報告目次

I. 概況及び総括	頁
1. 沿革	1
2. 所在地	1
3. 組織及び業務の概要	2
4. 機構と職員数	2
5. 職員の配置	2
6. 職員の異動	3
7. 平成15年度決算額	4
8. 職員の研修ならびに海外派遣	5
9. 受託研修等	6
10. 視察等来場者数	9
11. 問い合わせ・相談対応	9
12. 会議等出席	10
II. 研究成果の発表	
1. 刊行物等	14
2. 学会誌等発表および投稿状況	17
III. 長崎県の気象概況	18
IV. 試験研究課題	26

I. 概況及び総括

1. 沿革

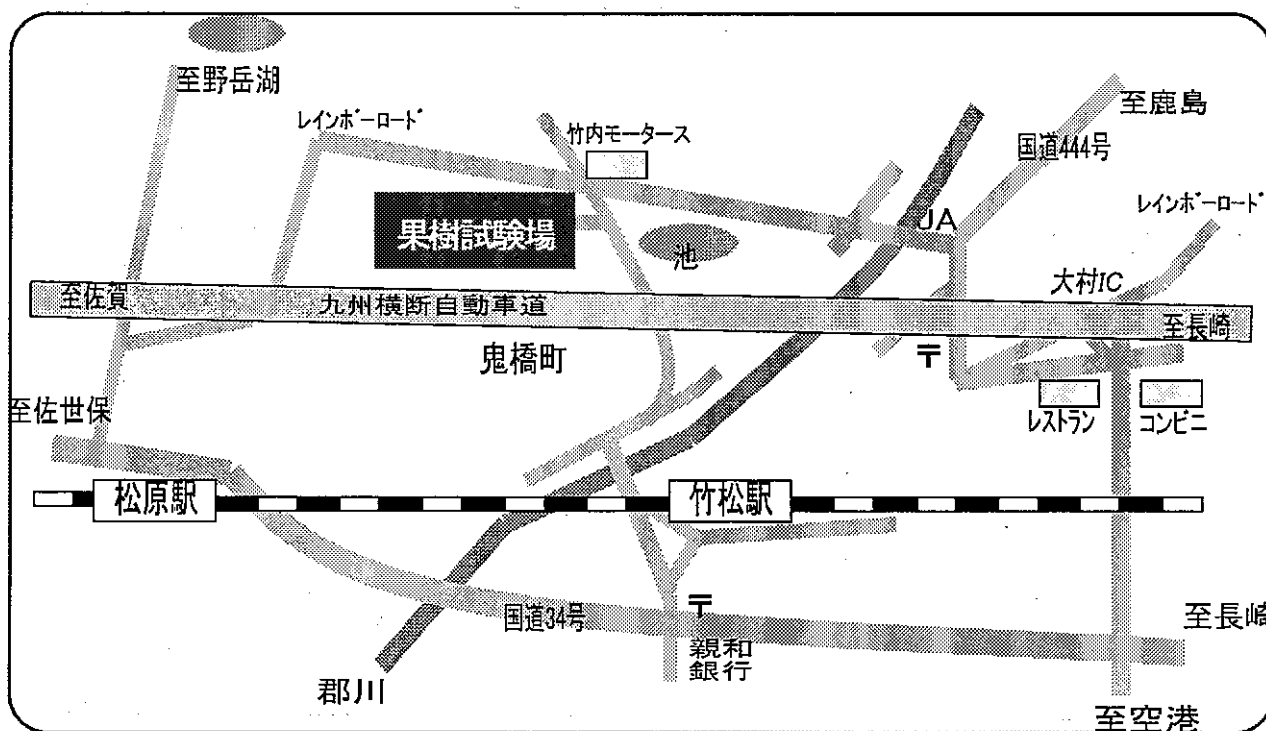
- 昭和29年4月 農業試験場大村園芸分場発足。 発足時には、そ菜担当、果樹担当を配置
- 昭和36年7月 機構改革により総合農林センター果樹部となる。 栽培科、環境科の2科編成
- 昭和38年4月 県北柑橘指導園新設。
- 昭和39年4月 施肥改善科（指定試験）新設。
- 昭和44年4月 環境科を病害虫科と改名。
- 昭和45年4月 長崎県総合農林試験場果樹部と改名。
- 昭和47年4月 長崎県果樹試験場として独立。
- 昭和48年4月 栽培科にビワ育種指定試験地設置。
- 昭和50年3月 県北柑橘指導園廃止。
- 昭和53年4月 ビワ育種科（指定試験）新設。
- 昭和56年4月 落葉果樹（ナシ、ブドウ、キウイ）の栽培試験始まる。
- 昭和58年4月 施設整備計画により本館、調査棟が改築される。
- 昭和63年4月 栽培科が常緑果樹科と落葉果樹科に分かれ独立科となる。
- 平成8年3月 ミカンの土壌肥料指定試験廃止
- 平成15年4月 県内7試験研究機関を統括する政策調整局所管となる。施肥改善科を廃止。

2. 所在地

名称	所在地	TEL	交通の便
長崎県果樹試験場	〒856-0021 大村市鬼橋町1370	0957-55 -8740	○JR大村線竹松駅下車2km 徒歩25分 ○バス 竹松郵便局前 カシ-5分

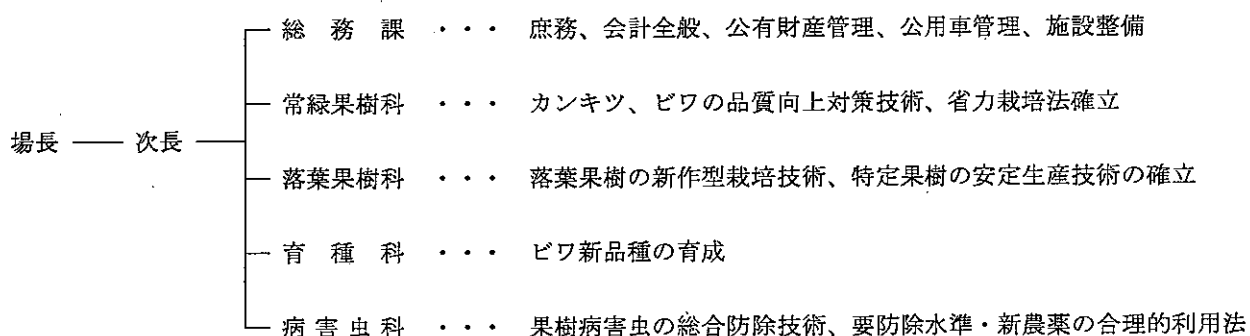
(長崎県果樹試験場 位置図)

緯度：北緯 32度56分56秒 東経 129度57分41秒



I. 概況及び総括

3. 組織及び業務の概要(平成15年4月1日)



4. 機構と職員数(平成15年4月1日現在)

	行政職		研究職				現業職	合 計
	課 長	係 長	場 長	次 長	科 長	研 究 員	技 師	
場 長			1					1
次 長				1				1
総 務 課	1	1					1	3
常緑果樹科					(1)	4	3	7 (1)
落葉果樹科					1	2	1	4
育種科					1	2	1	4
病虫害科					1	2	1	4
合 計	1	1	1	1	3 (1)	10	7	24 (1)

() 兼務

5. 職員の配置(平成15年4月1日現在)

場 長 大久保 宣 雄

次 長 山下 義 昭

課(科)名	職 名	職員氏名
総 務 課	課 長	西 島 信 雄
	係 長	古 賀 恵美子
	技 師	池 田 安 子
常緑果樹科	次長兼科長	山 下 義 昭
	研 究 員	古 川 忠
	"	山 下 次 郎
	"	高 見 寿 隆
	"	種 川 淳 子
	技 師	丸 田 助 喜
"	与 崎 進 一 郎	
"	石 川 清 治	

課(科)名	職 名	職員氏名
落葉果樹科	科 長	寺 井 理 治
	研 究 員	谷 本 恵美子
	"	田 中 実
育 種 科	技 師	山 口 祐 一 郎
	科長(参事)	根 角 博 久
	研 究 員	富 永 由 紀 子
	"	福 田 伸 二
病 害 虫 科	技 師	嶋 田 義 昭
	科 長	早 田 栄 一 郎
	研 究 員	菅 康 弘
	"	宮 崎 俊 英
	技 師	鶴 田 浩 徳

I. 概況及び総括

6. 職員の異動

1) 転入者(平成15年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
古賀 恵美子	総務課係長(副参事)	県北農業改良普及センター係長(副参事)
谷本 恵美子	落葉果樹科研究員	五島 " 係長
根角 博久	育種科長(参事)	(独)農業技術研究機構果樹研究所かき研究部 (興津)素材開発研究室主任研究官から (交流人事)
富永 由紀子	育種科研究員	対馬支庁農政水産部農務課主査
菅 康弘	病害虫科研究員	島原農業改良普及センター技師
宮崎 俊英	"	長崎農業改良普及センター技師

2) 転出者(平成15年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
中倉 建二郎	総合農林試験場企画経営部研究調整科長	落葉果樹科長
中村 吉秀	病害虫防除所係長	病害虫科研究員
小嶺 正敬	総合農林試験場環境部病害虫科研究員	"
井手 勉	長崎農業改良普及センター果樹花き班専門幹	施肥改善科長
後田 経雄	政策調整局科学技術振興課公設試連携班係長	施肥改善科研究員

3) 昇任者及び場内異動(平成15年4月1日付)

氏名	新所属	旧所属
種川 淳子	常緑果樹科研究員	施肥改善科研究員
与崎 進一	" 技師	施肥改善科技師
丸田 助善	"	落葉果樹科技師
石川 清治	"	病害虫科技師
寺井 理治	落葉果樹科長	育種科長
山口 裕一郎	落葉果樹科技師	常緑果樹科技師
嶋田 義昭	常緑果樹科技師	育種科技師
鶴田 浩徳	育種科技師	病害虫科技師

4) 退職者(平成15年3月31日付)

氏名	旧所属	備考
木原文 江	総務課係長(副参事)	(独)農業技術研究機構果樹研究所かき研究部 (口之津)育種研究室研究員(交流人事)
稗圃 直史	育種科研究員	

I. 概況及び総括

7. 平成15年度決算額

1) 総使用額	278,890,855円
(1) 人件費(職員給与)	205,184,635円
(2) 果樹試験場費(本庁執行額等を含む)	64,865,000円
① 運営費	12,660,000円
② 試験研究費	
常緑果樹研究費	14,710,000円
落葉果樹研究費	3,202,000円
育種研究費	11,383,000円
病虫害研究費	8,785,000円
圃場管理費	7,163,000円
研究広報費	668,000円
③ 果樹試験場施設整備費	6,294,000円
(3) 果樹試験場費以外の令達予算	8,841,220円

2) 果樹試験場費の財源内訳

(1) 一般財源	40,262,000円
(2) 国庫支出金	14,665,000円
(3) その他	9,938,000円

3) 果樹試験場施設整備費の内訳

(1) 施設整備	0円
(2) 備品更新・整備	6,294,000円
(3) 備品更新・整備の内訳	

品名	型式		取得金額(円)
気象観測装置		1	3,034,750
超低温フリーザー		1	861,000
高所作業車		1	682,500
製氷器		1	504,000
電動ビューレット		1	281,400
シュレッダー		1	262,500
その他			648,005

I. 概況及び総括

8. 職員の研修ならびに海外派遣

(1) 平成15年度依頼研究員研修事業に基づく研修

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
なし				

(2) 平成15年度農林業バイオテクノロジー研究推進事業に基づく研修

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
富永由紀子	果樹試験場 育種科	機能成分分析手法及びその遺伝子発現解析手法の修得	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 カンキツ研究部興津 品質機能研究室	H15. 10. 20 ~11. 5
福田 伸二	果樹試験場 育種科	量的形質解析技術の習得	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 落葉果樹ゲノムチーム	H15. 11. 10 ~11. 21
菅 康弘	果樹試験場 病害虫科	農業技術研修 ウイルス検定技術研修	(独)農業・生物系特定産業技術研究機構 果樹研究所 口之津	H15. 9. 9 ~9. 12

(3) 平成15年度都道府県農林水産省関係研究員短期集合研修等

研修者氏名	所属名	研修課題	研修機関	研修期間
富永由紀子	果樹試験場 育種科	農業技術研修 統計基礎	農林水産省研修所 農業技術研修館	H15. 10. 19 ~10. 25

(4) 海外での学会、調査等の出張

研修者氏名	所属名	技術交流	交流機関	交流期間
古川 忠	常緑果樹科	中国福建省との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・福建省人民政府農業弁公室 ・福建省林業庁 ・福建省農業科学院 (生物資源研究所、植物保護研究所、果樹研究所) ・福建省惠安：野菜生産地 ・福建省彰州：花き・果樹生産地 ・上海市孫橋現代農業開発区 	H16. 3. 22 ~3. 29

I. 概況及び総括

9. 受託研修等

(1) 農業指導者等実技研修（農業大学経由・農協等）および一般研修

受け入れ部名	研修者氏名	依頼機関名	研修項目	研修期間
常緑果樹科 落葉果樹科 育種科 病害虫科	谷口正和	県立農業大学校	果樹全般	H15. 4. 17 ～16. 3. 19 (木、金曜)
常緑果樹科	今道又史	同上	常緑果樹栽培	H15. 4. 14 ～15. 12. 15 (月～水曜)

(2) 農業改良普及員研修（新任者、課題解決等）

受け入れ部名	研修者氏名	普及センター	研修部門	研修名	研修期間
常緑果樹科 落葉果樹科 育種科 病害虫科	松本紀子 福吉賢三	長崎 県央	果樹全般	新任普及員研修	H15. 5. 12～ 5. 15 H15. 5. 26～ 5. 30
常緑果樹科 落葉果樹科 育種科 病害虫科	大渡優子 村岡 悠	長崎 島原	果樹全般	専門技術基礎研修	H15. 7. 7～ 7. 11 H15. 12. 8～12. 10 H16. 3. 3～ 3. 4

(3) 普及員等国内留学研修

受け入れ部名	研修者氏名	所属	研修項目	研修期間
なし				

(4) 海外研修生

受け入れ部名	研修者氏名	所属	研修項目	研修期間
なし				

(5) 生産組織研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
常緑・病虫科	JA島原雲仙	千々石	10	温州隔年結果対策、サビダニ対策について	H15. 4. 10
常緑果樹科	JA大長崎	瀬川	10	温州ミカンの品種動向と特性について	H15. 4. 22
常緑果樹科	JAことのうみ	長与	13	温州ミカンの有望品種について	H15. 5. 6
落葉果樹科	JAことのうみ	琴海	25	カキ、ブドウの栽培について	H15. 5. 9
病害虫科	一八会	長与町	20	カンキツブドウの病害虫防除について	H15. 5. 9
常緑果樹科	JA大長崎	西海	17	温州ミカンの有望品種について	H15. 6. 10
落葉果樹科	JA大村	福重	10	ブドウの栽培について	H15. 5. 12
落葉果樹科	JA島原雲仙	国見	16	スモモの栽培について	H15. 5. 14
常緑果樹科	藤津郡果樹部	鹿島	18	ミカン生産対策	H15. 5. 28
常緑果樹科	JA大西海	大串	18	温州ミカン品質向上対策	H15. 6. 3
落葉果樹科	JA県央お部会	諫早	7	ナシ生産対策	H15. 6. 6
落葉果樹科	JAことのうみ	長与	20	キウイフルーツの生産対策	H15. 6. 19
常緑果樹科	JA大長崎	大串	20	不知火(M16A)の特性と栽培管理について	H15. 6. 27
常緑果樹科	JAことのうみ	伊木力	57	させぼ温州、マルチ栽培、隔年結果対策	H15. 6. 27

I. 概況及び総括

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
常緑果樹科	JA大長崎	茂木	20	温州ミカンの有望品種について	H15. 7. 8
落葉果樹科	JAことのみ	長与	20	キウイフルーツの生産対策	H15. 7. 9
常緑果樹科	JA島原雲仙	南高	14	させば温州、マルチ栽培、隔年結果対策	H15. 7.10
常緑果樹科	JA大長崎	西彼	16	ビワ「麗月」と栽培特性	H15. 7.15
育種科	上浦町ビワ部会	大分県	8	露地ビワの多収技術、ビワの新品種について	H15. 7.16
常緑果樹科	JA長崎	野母崎	15	ビワ栽培管理技術	H15. 7.16
常緑果樹科	JA大長崎	瀬川	20	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H15. 7.24
常緑果樹科	JA島原雲仙	雲仙	25	させば温州、マルチ栽培、隔年結果対策	H15. 7.29
常緑果樹科	登龍宮農改善	加津佐	16	ミカン生産対策	H15. 8. 4
病害虫科	JA島原雲仙	瑞穂	40	サビダニ、ハダニの防除法、腐敗果対策	H15. 8. 8
落葉果樹科	JAことのみ	琴海	8	スモモの栽培管理技術について	H15. 8.12
常緑果樹科	JA大長崎	西海(1)	18	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H15. 8.18
常緑果樹科	JA東長崎	日見	6	させば温州、ビワ栽培	H15. 8.20
常緑果樹科	JA大長崎	西海(2)	23	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H15. 8.28
常緑果樹科	JA東長崎	柿泊	25	させば温州、マルチ栽培	H15. 8.29
常緑果樹科	JA県央	千綿	13	温州ミカン品質向上対策	H15. 9. 1
常緑果樹科	JAことのみ	伊木力	35	させば温州の生産管理について	H15. 9. 4
常緑果樹科	JA島原雲仙	瑞穂	11	ハウスビワの施設栽培、有望な品種について	H15. 9. 5
常緑果樹科	認定農業者	多良見町	27	させば温州の生産管理について	H15. 9. 8
常緑果樹科	鹿島中央	JA佐賀	29	温州ミカン品質向上対策	H15. 9. 9
常緑果樹科	JA長崎	北浦ビワ	45	ビワ栽培管理技術	H15. 9.10
常緑果樹科	JAことのみ	伊木力	36	させば温州の生産管理について	H15. 9.10
常緑果樹科	JA長崎	日吉ビワ	18	ビワ栽培管理技術	H15. 9.10
常緑果樹科	JA松浦	志佐	15	させば温州の生産管理について	H15. 9.16
常緑果樹科	JA島原雲仙	西有家	20	温州ミカン品質向上対策 施設中晩柑の栽培	H15. 9.16
常緑果樹科	JAことのみ	長浦	13	させば温州の生産管理について	H15. 9.17
常緑果樹科	JA愛媛中央	愛媛県	15	施設中晩柑の栽培	H15. 9.17
常緑果樹科	JA県央	三浦	7	早熟系温州ミカン品種特性	H15. 9.18
常緑果樹科	JA県央	川棚	2	温州ミカン品質向上対策	H15. 9.18
常緑果樹科	JA大長崎	西海水浦	18	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H15. 9.22
常緑果樹科	JAことのみ	形上	8	させば温州の生産管理について	H15. 9.25
常緑果樹科	JA大長崎	戸石・古賀	7	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H15. 9.25
常緑果樹科	JAながさき西海	調川	10	させば温州の生産管理について	H15. 9.25
常緑果樹科	JA大長崎	三和	43	ビワ生産対策	H15.10. 1
常緑果樹科	カンキツ栽培者	大分県杵築	9	温州ミカン生産管理 中晩柑栽培	H15.10. 2
常緑・病虫科	JA大長崎	三和	41	ビワ生産対策、病害虫の防除	H15.10. 2
常緑果樹科	JA県央	そのぎ	6	ビワ生産対策、病害虫の防除	H15.10. 3
常緑果樹科	JA大長崎	野母崎	40	ビワ新品種、ビワ生産対策	H15.10.15
常緑果樹科	JA県央	荒瀬	12	果樹の苗木育成対策	H15.10.24
常緑果樹科	JA島原雲仙	島原南	30	温州ミカン生産管理 中晩柑栽培	H15.10.27
常緑果樹科	JAことのみ	伊木力	10	させば温州の安定生産・品質向上対策	H15.10.27
常緑果樹科	JAことのみ	喜々津	11	させば温州の生産管理(仕立て方)について	H15.10.29
常緑果樹科	五島ビワ部会	福江市	20	ビワ栽培管理技術(多収技術)	H15.10.31
落葉果樹科	JA長崎	間の瀬	25	落葉果樹全般	H15.11. 5
常緑果樹科	JA大長崎	大崎	19	ビワ新品種と栽培技術	H15.11. 6
常緑果樹科	大島町ビワ部会	大島	19	ビワ栽培技術	H15.11. 6
常緑果樹科	鹿児島	鹿屋市	5	ビワ栽培技術	H15.11.18
常緑・病虫科	茂木ビワ連合会	茂木	13	ビワ生産対策、病害虫の防除	H15.11.18

I. 概況及び総括

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
常緑果樹科	JA県央	大村	45	温州みかんの安定生産・品質向上対策	H15. 11. 19
落葉果樹科	JA伊万里	佐賀県	12	スモモの整枝、せん定。品種の特性と栽培	H15. 12. 5
常緑果樹科	JA島原雲仙	瑞穂	13	温州みかんの安定生産・品質向上対策	H15. 12. 12
常緑果樹科	JA島原雲仙	国見	6	温州みかんの安定生産・品質向上対策	H16. 1. 14
常緑果樹科	全農徳島	徳島市	5	カンキツの有望な品種特性と栽培法	H16. 1. 15
常緑果樹科	JA大長崎	西彼	8	させば温州の安定生産・品質向上対策	H16. 1. 29
常緑果樹科	JAことのうみ	中晩柑研	30	中晩柑の特性と栽培法	H16. 1. 30
常緑果樹科	JAことのうみ	琴海	30	ビワの生産対策	H16. 2. 6
常緑果樹科	JA東長崎柑橘部	東長崎	23	させば温州の安定生産・品質向上対策	H16. 2. 9
常緑果樹科	JA島原雲仙	吾妻	12	高品質ミカンの生産対策	H16. 2. 12
常緑果樹科	JAことのうみ	長与	20	させば温州の安定生産・品質向上対策	H16. 2. 14
常緑果樹科	JA島原雲仙	瑞穂	10	施設中晩柑の栽培・試食	H16. 2. 16
常緑果樹科	JA島原雲仙	北有馬	7	温州みかんの安定生産・品質向上対策	H16. 2. 16
常緑果樹科	JAことのうみ	時津	15	中晩柑の栽培・試食	H16. 2. 23
常緑果樹科	JAながさき西海	味っ子研	22	させば温州の安定生産・品質向上対策	H16. 2. 24
常緑果樹科	JA佐賀松浦	佐賀県	10	柑橘の生産対策 省力化技術体系について	H16. 3. 1
常緑果樹科	JA県央	大村	20	高品質ミカンの生産対策	H16. 3. 2
常緑果樹科	JA東長崎	農業塾生	25	みかんの生産技術	H16. 3. 9
常緑果樹科	長有研	島原	12	みかんの品種動向	H16. 3. 11
落葉果樹科	JA県央	諫早	7	スモモの栽培管理技術について	H16. 3. 11
件数			1,133人	82件	

(6) 婦人グループ研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
常緑果樹科	JAことのうみ	伊木力女性部	45	させば温州、マルチ栽培について	H15. 6. 27
常緑果樹科	ミカン婦人部	大村	40	させば温州の栽培について	H15. 6. 30
件数			85人	2件	

(7) 営農指導員等研修

受け入れ科名	組織名	地区名	員数	研修内容	研修日
常緑果樹科	JAことのうみ		10	ミカン早期成園化、マルチ栽培	H15. 5. 6
常緑果樹科	藤津農技連	佐賀県	25	ミカン高品質果実栽培法	H15. 5. 28
常緑果樹科	JA県央		22	果樹栽培の課題と今後の対策	H15. 6. 3
育種科	大分農技連	大分県	10	ビワの品種について	H15. 7. 16
常緑果樹科	JA県央	南部営農	11	果樹栽培の課題と今後の対策	H15. 7. 30
常緑果樹科	全農山口	山口県	8	させば温州、マルチ栽培、隔年結果対策	H15. 7. 31
常緑果樹科	宮崎県園芸課	宮崎県	4	させば温州の栽培方法 茎頂接ぎ木について	H15. 10. 10
常緑果樹科	JA県央	南部営農	9	マルチ栽培、隔年結果対策	H15. 11. 17
常緑果樹科	農業大学校	諫早	12	果樹栽培の課題と今後の対策	H15. 11. 26
常緑果樹科	佐世保高専	佐世保	29	果樹栽培について	H15. 12. 3
常緑果樹科	JA徳島	徳島県	8	温州ミカンのマルチ栽培	H16. 1. 15
常緑果樹科	広島農改センター	広島県	1	ビワ多収技術について	H16. 1. 22
常緑果樹科	農業ヘルパー	長崎市	35	果樹栽培法全般	H16. 3. 5
常緑果樹科	農業委員会	玉之浦町	14	果樹栽培法全般	H16. 3. 10
育種科	農業大学校	香川県	4	ビワの品種(育種)について	H16. 3. 17
件数			202人	15件	

I. 概況及び総括

(8) 体験学習

受け入れ科名	研修者氏名	依頼機関名	研修項目	研修期間
・常緑果樹科	蘭 賢太郎	大村市立 郡中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹の剪定 ・キウイの収穫 ・施肥 ・ビニール張り ・病害虫被害葉調査 ・ビワの育種 ・その他 	H15.11.13
・落葉果樹科	石川 信道	〃		~11.15
・育種科	上原祥太郎	〃		
・病害虫科	田口 大貴	〃		
	永尾 秀一	〃		
	西福 元敦	〃		
	古川 皓介 鳩野 祥	〃		
・常緑果樹科	苑田智広	県立ろう学校		H15. 7. 8 ~ 9
・落葉果樹科				
・育種科				
・病害虫科				

10. 視察等来場者数

人、()内は件数

		県 内	県 外	外 国	総 計
学 生 (生 徒)	総人数	(3) 215	(1) 4	(0) 0	(4) 219
一 般	総人数	(106) 2,506	(39) 176	(0) 0	(145) 2,682
計	総人数	(109) 2,721	(40) 181	(0) 0	(149) 2,901

*一般公開来場者 総数 1,315人 (一般 1109人、生徒 206人)

11. 問い合わせ・相談対応

(件・人)

	手 段		問 い 合 わ せ ・ 相 談 者					相 談 内 容			
			農家	普及	J A	一般	その他	栽培	品種	病害虫	その他
常緑果樹科	電話	124	40	35	25	18	6	62	20	42	
	来訪	58	15	18	10	5	10	32	5	21	
落葉果樹科	電話	35	11	2	3	15		17	7	11	
	来訪	30	12	3	3	12		26	4		
育 種 科	電話	12	3	3		2	4	4	7	3	5
	来訪	2	3				2		3	2	
病 害 虫 科	電話	136	10	49	68					128	
	来訪	116	10	74	32					116	
計	電話	307	64	89	96	35	10	83	34	184	5
	来訪	206	40	95	45	17	12	58	12	134	0

I. 概況及び総括

12. 会議等出席

(1) 研究企画調整関係

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 11	農林業試験研究調整担当者会議	科学技術振興課	諫早市	次長	1
4. 25	農林業試験研究調整担当者会議	科学技術振興課	諫早市	次長	1
5. 6	16年度全国農業関係試験場長会打ち合わせ	総合農林試験場	諫早市	次長	1
5. 13~14	農林業試験研究推進会議部門別検討会（果樹）	農業技術課	場内	研究員全員	15
5. 15	公設試見学会（窯業技術センター）	科学技術振興課	波佐見	研究員	2
5. 21	公設試研究企画調整担当者会議	科学技術振興課	長崎市	次長	1
5. 21	公設試見学会（衛生公害研究所）	科学技術振興課	長与町	研究員	1
5. 23	公設試見学会（総合農林試験場）	科学技術振興課	諫早市	研究員	2
5. 26~30	農林業試験研究推進会議部門別検討会（農試）	総合農林試験場	諫早市	研究員	5
5. 30	農林業試験研究推進会議部門別検討会（畜試）	畜産試験場	有明町	研究員	1
6. 2	公設試研究企画調整担当者会議	科学技術振興課	諫早市	次長	1
6. 9	公設試見学会（果樹試験場）	科学技術振興課	場内	場長他	10
6. 11	公設試見学会（畜産試験場）	科学技術振興課	有明町	研究員	1
6. 17	公設試研究企画調整担当者会議	科学技術振興課	場内	場長他	1
7. 18	公設試研究企画調整担当者会議（工業技術セン）	科学技術振興課	大村市	次長	1
8. 8	農林業試験研究調整担当者会議	科学技術振興課	場内	場長、次長	2
8. 21	農林業試験研究調整担当者会議	科学技術振興課	諫早市	次長	1
10. 1	公設試研究企画調整担当者会議	科学技術振興課	長崎市	次長	1
10. 23	試験研究普及実績発表会打ち合わせ	農業技術課	諫早市	次長	1
12. 24	農林業試験研究調整担当者会議	科学技術振興課	諫早市	次長	1
1. 15	公設試研究企画調整担当者会議	科学技術振興課	長崎市	次長	1
3. 12	科学技術関係調整会議農林部会	科学技術振興課	場内	場長他	2
回 数	2 2回				

(2) 県主催

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 23	農林部関係地方機関長会議	農林部	長崎市	場長	1
4. 24~25	農産園芸振興対策協議会	農林部	長崎市	場長他	5
4. 28	農林業試験研究機関長等会議	農林部	有明町	場長・次長	2
5. 13~14	試験研究推進会議 部門別検討会（果樹）	科学技術振興課	場内	全研究員	15
6. 18	政策評価ヒヤリング	政策評価課	長崎市	次長	1
6. 19	農林業技術普及連絡会議打ち合わせ	農林部	諫早市	次長	1
6. 10	農薬安全対策協議会	農林部	長崎市	病虫害科	1
7. 11	試験研究機関長会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
7. 15	バイオテック推進連絡協議会研修報告会	農林部	諫早市	研究員	4
7. 22	農林業技術普及連絡会議	農林部	諫早市	場長、次長	7
7. 25	分野別研究推進員会	科学技術振興課	諫早市	場長 他	5
8. 8	地域政策局理事との意見交換会	科学技術振興課	場内	全研究員	13
8. 11	試験研究機関長会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
8. 19	研究推進員会	科学技術振興課	長崎市	場長 他	5
8. 27	シーボルト大学との意見交換会	科学技術振興課	長与町	場長他	6
9. 2	異常気象連絡会議	農林部	長崎市	場長	1
9. 2	農林業試験研究機関長等会議	科学技術振興課	諫早市	場長・次長	2
9. 5	食と農を考えるシンポジウム	農林部	長崎市	場長他	3
9. 8	農林業 I T 担当者会議	農林部	長崎市	研究員	1
10. 1	特許説明会	科学技術振興課	場内	全研究員	11

I. 概況及び総括

月日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
10. 9	園芸ビジョン2 1果樹部会	農林部	長崎市	次長他	2
10.10	農林業試験研究機関長会議	科学技術振興課	長崎市	場長	1
10.16	病虫害防除展示圃成績検討会	農林部	諫早市	病虫害科	2
10.29	経過措置農薬検討会	農林部	諫早市	病虫害科	1
10.30	農薬安全対策協議会	農林部	長崎市	病虫害科	1
11.10	試験研究普及実績発表会	農林部	諫早市	場長他	10
11.19	農薬安全対策協議会	農林部	長崎市	病虫害科	1
11.21	都市・農村共生シンポジウム	農林部	長崎市	場長他	4
11.22	みのりの秋感謝祭（ふれあい農業祭り出展）	農林部	長崎市	研究員	2
11.26	異業種交流大会	科学技術振興課	長崎市	場長他	4
11.27	16年度予算ヒヤリング	財政課	長崎市	次長	1
12.10	合同ゼミナール 特別講演会	総合農林試験場	諫早市	研究員	5
12.18	公設試連携フォーラム	シーボルト大学	長与町	場長他	6
12.22	福建省との交流打ち合わせ	科学技術振興課	諫早市	次長	1
1.22	県産学官連携推進機構合同シンポジウム	科学技術振興課	長崎市	場長他	3
1.23	分野別課題評価委員会	科学技術振興課	諫早市	場長他	10
1.27	連携プロジェクト課題評価委員会	科学技術振興課	長崎市	次長他	5
2. 3	試験研究機関長会議	科学技術振興課	諫早市	場長	1
2.13	分野別機関評価委員会	科学技術振興課	場内	場長他	7
2.17	バイテク推進協議会研究報告会	農林部	諫早市	研究員	5
2.19	福建省との交流打ち合わせ	科学技術振興課	諫早市	次長	1
2.20	分野別研究推進委員会	科学技術振興課	諫早市	場長他	4
2.26~27	場内成績検討会	果樹試験場	場内	全職員	20
3.16	農林業試験研究推進会議部門別検討会（農試関係）	総合農林試験場	諫早市	研究員	2
3.18	研究推進委員会	科学技術振興課	長崎市	場長他	4
3.19	農林業試験研究推進会議部門別検討会（果樹関係）	果樹試験場	場内	場長他	15
3.22~29	中国福建省との技術交流	科学技術振興課	福建省	研究員	1
回数	47回				

(3) 国等主催

月日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 3~5	園芸学会（育種）	園芸学会	藤沢市	育種科	1
4.15	カメムシ試験設計検討会	(独) 九沖農研	熊本市	病虫害科	3
4.23~24	指定試験主任者会議	(独) 果樹研究	東京都	育種科	1
5. 8	地域基幹検討会	(独) 九沖農研	熊本県	常緑果樹科	2
5.15~16	果樹推進部会研究会	(独) 九沖農研	福岡市	各科	8
5.22~23	全国農業関係試験研究機関場長会	全国場長会	奈良県	場長	1
6. 3	果樹研究会	(独) 果樹研究	和歌山	研究員	2
7. 9~10	指定試験主任者会議	(独) 果樹研究	東京都	育種科	1
7.14	九州うんしゅうみかん高品質化安定技術確立会議	九州農政局	熊本市	次長	1
7.16	ガンマーフィールドシンポジウム	(独) 農研セ	水戸市	研究員	1
7.28~29	九農研産学官連携部会・評価企画会議	(独) 九沖農研	熊本県	次長	1
7.29~30	九州地区農業試験場所長会議、現地検討会	(独) 九沖農研	佐賀県	場長	1
8. 5	分析化学講習会	(独) 九沖農研	福岡市	研究員	2
8. 6~7	地域基幹検研究現地討会	(独) 九沖農研	熊本市	常緑果樹科	3
9. 3	カメムシ中間検討会	(独) 九沖農研	大分市	病虫害科	1
9. 3~4	九州うんしゅうみかん高品質化安定技術確立会議	九州農政局	宮崎市	次長	1

I. 概況及び総括

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
9. 9～12	ウイルス検定技術研修会	(独) 果樹研	口の津	病害虫科	2
9. 17～18	九州沖縄地域農林水産業研究成果発表会	(独) 九沖農研	宮崎県	場長他	1
9. 19～22	園芸学会 (育種)	園芸学会	山口市	育種科	1
10. 17～18	生態工学シンポジウム	(独) 農研セ	埼玉市	病害虫科	1
10. 19～25	農業技術短期研修 (統計基礎)	(独) 農研セ	つくば	育種科	1
10. 20～24	堆肥施用コーディネーター研修	(独) 農研セ	つくば	常緑果樹科	1
10. 20～31	機能性成分分析手法等研修	(独) 果樹研	静岡市	育種科	1
10. 21～24	地域科学技術政策研修	(独) 果樹研	広島市	育種科	2
11. 6～ 7	新技術地域実用化検討会	(独) 九沖農研	沖縄県	常緑果樹科	1
11. 12～13	九州沖縄農業試験研究推進会議 本会議	(独) 九沖農研	熊本県	場長	1
11. 13	九州地区農業試験場長会議	(独) 九沖農研	熊本県	場長	1
11. 20～21	植物細菌病懇話会	(独) 九沖農研	宮崎市	病害虫科	1
11. 25～26	天敵利用研究会	(独) 九沖農研	広島市	病害虫科	1
12. 2	九州各県農業関係試験研究連絡担当者会	(独) 九沖農研	熊本市	次長	1
12. 2	地方領域設定打ち合わせ	農政局	熊本市	次長	1
1. 13～14	指定試験中間評価会	(独) 果樹研究	東京都	育種科	1
1. 12	九農研・企画推進会議	(独) 九沖農研	熊本県	次長	3
1. 26～27	試験研究推進会議 (病害虫)	(独) 九沖農研	熊本市	病害虫科	3
1. 27～28	落葉果樹研究会	(独) 果樹研究	つくば	落葉果樹科	12
1. 29～30	常緑・落葉果樹研究会 (病害虫)	(独) 果樹研究	東京都	病害虫科	1
2. 2～ 3	九州沖縄農業試験研究推進会議 果樹部会	(独) 九沖農研	諫早市	全研究員	2
2. 3	九州沖縄農業試験研究 土壌肥料成績検討会	(独) 九沖農研	熊本	常緑果樹科	1
2. 17～19	指定試験果樹試験研究推進会議	(独) 果樹研究	つくば	育種科	2
3. 10～11	農業機械開発会議	(独) 農研セ	埼玉市	常緑果樹科	1
3. 11	地域基幹検討会	(独) 九沖農研	二日市	常緑果樹科	3
3. 15	九州うんしゅうみかん生産対策会議	農政局	熊本市	次長	1
3. 31～ 4	園芸学会 (育種)	園芸学会	宇都宮	育種科	2
回 数	43回				

(4) 団体等主催

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
4. 4	県果樹研究会ピワ部会	全農ながさき	場 内	次長	1
4. 9	農業共済 現地見回り (ナシ)	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
4. 17	ハウスミカン・ピワ出荷協議会	全農ながさき	長崎市	場長	1
4. 22	果樹業務打ち合わせ (行政、研究、団体)	全農ながさき	長崎市	場長他全科長	5
5. 1～ 2	みかん開花状況調査	全農ながさき	県 内	常緑果樹科	2
5. 8	農業共済 ミカン開花調査	県農業共済組合	県 内	場長他	3
5. 8	県植物防疫協会総会	植物防疫協会	長崎市	病害虫科	1
6. 3	営農指導員研修会	J A 県央	場 内	次長他	3
6. 9	県果樹研究会総会	全農ながさき	長崎市	場長	1
6. 13	農業共済損害評価会	県農業共済組合	諫早市	場長他	4
6. 25	長崎先端技術開発協議会研究員会	先端技術協議会	長崎市	場長	1
6. 27	試験研究機関OB会総会	OB会	諫早市	場長	1
7. 4	カンキツ生産者大会	全農ながさき	時津町	場長他	2
7. 15	落葉果樹出荷協議会	全農ながさき	長崎市	落葉果樹科	1
7. 16	長崎先端技術開発協議会総会・成果発表会	先端技術協議会	長崎市	場長他	3
7. 16	農業共済会議	県農業共済組合	諫早市	場長他	3

I. 概況及び総括

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
8. 5	カンキツ経営者大会	J A大西海	西彼町	場長	1
8. 6	農業共済 現地見回り (ナシ)	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
8. 7~ 8	九州地区植物防疫協議会果樹技術研修会	九坊協	別府市	病害虫科	2
8. 26	全国カンキツ生産者大会	全農	佐賀県	研究員	3
9. 11	カンキツ生産者大会	J A大村中央	大村市	場長	1
9. 12	みかん出荷協議会	全農ながさき	長崎市	場長	1
10. 6	農業共済 現地見回り (ミカン)	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
10. 14	農業共済損害評価会 (ビワ)	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
11. 10	九州地区植物防疫協議会試験成績検討会	九州防除協議会	福岡市	病害虫科	2
12. 2~ 5	新農薬実用化試験検討会	日本植物防疫協	東京都	病害虫科	3
12. 12	農業共済損害評価会	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
1. 25~26	落葉果樹除草剤・生育調節剤成績検討会	日本植調協会	東京都	落葉果樹科	1
2. 3~ 4	植物防疫九州沖縄地区協議会	植物防疫協会	宮崎市	病害虫科	1
2. 4~ 5	九州病害虫研究会	植物防疫協会	宮崎市	病害虫科	1
2. 9	ハウスビワ出荷協議会	全農ながさき	長崎市	場長	1
3. 9	農業共済損害評価会	県農業共済組合	諫早市	場長他	3
回 数	32回				

(5)その他要請等

月 日	行 事 内 容	主 催	場 所	担 当 科	出席員数
5. 27	県立農大講義	県立農大	諫早市	病害虫科	1
6. 12	県立農大講義	県立農大	諫早市	病害虫科	1
6. 26	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
6. 30	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
7. 5	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
7. 16	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
7. 17	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑科・病虫害科	2
8. 5	研究成果地区別報告会	長崎農改センター	西彼町	病害虫科	1
9. 16	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
9. 18	県立農大講義	県立農大	諫早市	育種科	1
9. 25	県立農大講義	県立農大	諫早市	育種科・病虫害科	2
9. 29	県立農大講義	県立農大	諫早市	常緑果樹科	1
10. 2	県立農大講義	県立農大	諫早市	育種科	1
12. 1	長崎の果樹編集会議	全農ながさき	長崎市	次長	1
3. 1	新技術協議会	果樹試験場	場 内	全研究員	7
回 数	15回				

Ⅱ. 研究成果の発表

Ⅱ. 研究成果の発表

1. 刊行物等

(1) 果樹試験場業務報告

誌名	発行部数
平成15年度長崎県果樹試験場業務報告	500部

(2) 主要な試験成績書 (平成15年度に印刷・発行した成績書)

科名	成績書名	判名・ページ数	発行部数
病虫害科	「集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の環境保全型防除技術の開発」研究成果事例集	A4 33頁	410部
	「ビワがんしゅ病に関する研究」 (元 病虫害科長 森田昭)	A4 150頁	400部

(3) 研究成果情報 第18号 (平成15年11月、九州沖縄農業試験研究推進会議)

分類	成果情報名	担当科
普及に移しうる成果	ビワ用改良ガス透過量調節フィルムのMA包装によるビワ果実の鮮度保持効果	常緑果樹科
技術の参考となる成果	収穫後のジベレリン散布による「大津四号」着花抑制	常緑果樹科
研究の参考となる成果	両親の果汁pHの選択基準を超えるビワ交雑実生の出現率予測	育種科

(4) 研究成果情報 第18号 (平成16年2月、ながさき普及技術情報)

分類	成果情報名	担当科
普及に移しうる成果	早熟性で高糖度な温州みかん「木村早生」の品種特性	常緑果樹科
	「させば温州」の早期樹冠拡大のための枝管理法	常緑果樹科
	「青島温州」の隔年結果是正のための不作年の夏秋しょうせん除	常緑果樹科
	「不知火」の有孔ポリ袋包装による省力長期貯蔵技術	常緑果樹科
	ビワの緑枝の発生が少ない枝の鋸傷処理による効率的な新しょう発生方法	常緑果樹科
	ビワ大果性品種「陽玉」の加温施設栽培における摘らい方法及び摘果法	常緑果樹科
	ビワ良食味品種「涼風」「陽玉」の施設栽培における果実品質	常緑果樹科
	短しょうせん定で無核処理に適した大粒系ブドウ品種	落葉果樹科
	樹勢の強いウイルス無毒樹「巨峰」の短しょうせん定による無核果の生産	落葉果樹科
	温州ミカンにおけるミカンサビダニの効果的な年間防除体系	病虫害科

Ⅱ. 研究成果の発表

分 類	成 果 情 報 名	担 当 科
技術指導の参考となる成果	ヒリュウ台「青島温州」の初着果のための条件	常緑果樹科
	「させぼ温州」の結果母枝の形質と果実品質	常緑果樹科
	「させぼ温州」の施肥の省力化と樹冠拡大	施肥改善科
	高うね極早生温州の通路境界部シート埋設による果実品質向上	常緑果樹科
	新たに登録されるカンキツ「口之津32号」果実特性	常緑果樹科
	「はるみ」の枝別摘果による連年結実法	常緑果樹科
	施設栽培「不知火」の樹冠下マルチ被覆による表層細根増加技術	常緑果樹科
	ピワ豊産性品種「涼風」「陽玉」の施設栽培における栽培特性	常緑果樹科
	ピワ豊産性品種「陽玉」の露地栽培における栽培特性	常緑果樹科
	ピワ良食味品種「陽玉」の収穫適期の果実形質	常緑果樹科
	栽培が容易で高品質多収生産が可能なスモモ中生品種「李王」	落葉果樹科
	栽培が容易で高品質多収生産が可能なスモモ晩生品種「太陽」	落葉果樹科
	極早生、早生温州ミカンにおける果実の取り扱いが腐敗発生に与える影響	病害虫科
	温州ミカンにおける夏季のミカンハダニの被害が果実品質に及ぼす影響	病害虫科
	露地ピワの果実腐敗の発生部位と防除時期	病害虫科
	ミラマット入りピワ袋を袋掛けした場合の果実腐敗発生に与える影響	病害虫科
	栽培管理に利用できる温州ミカンの品質予測システム	施肥改善科
	させぼ温州ブランド「出島の華」の食味と果汁中アミノ酸の影響	施肥改善科
	温州ミカン園におけるバーク堆肥を用いた化学肥料節減技術	施肥改善科
	マルチ栽培温州での環境保全型年1回施肥技術	施肥改善科
「不知火」幼木の生育と適正EC（電気伝導度）	施肥改善科	

II. 研究成果の発表

(5) 長崎県試験研究・普及実績発表会（要旨）（平成15年11月10日）

発表部門	発表者氏名	所 属	発 表 課 題
総 合	船場 緑	長崎農業改良普及センター	農村の魅力と活力を生む直売活動への支援
	盛高 正史	県央農業改良普及センター	県央地区での認定農業者に対する普及活動
	黒瀬 貴樹	島原農業改良普及センター	肉用牛繁殖経営における耕作放棄地を活用した集約的放牧栽培技術の普及
	澁 通則	県北農業改良普及センター	環境にやさしい茶栽培の指導支援
	前田 衛	五島農業改良普及センター	下五島における園芸作物を主とした畑作振興
	鮎川かおり	五島支庁農林水産部林務課	台風リスによる被害状況と防除対策
作物・野菜	向島 信洋	総合農試 愛野馬鈴薯支場 育種栽培科	長崎県に適したばれいしょ新品種「アイユタカ」の育成
	山田 寧直 黒川 陽治	総合農試 企画経営部 干拓科	諫早湾干拓初期営農における土壌改良と露地野菜の適応性
	一丸 楨樹	総合農試 環境部 加工科学科	農産物に残留する農薬の迅速分析に向けた分析法の開発
果 樹	高見 寿隆	果樹試験場 常緑果樹科	豊産性ビワ品種「涼風」「陽玉」の栽培特性
	谷本恵美子	果樹試験場 落葉果樹科	短しろう剪定による大粒系ブドウの無核化技術の確立
畜 産	橋元 大介	畜産試験場 大家畜科	黒毛和種における超早期母子分離技術（第2報）
	梶原 浩昭	畜産試験場 畜産環境科	家畜ふん堆肥の利用促進とその課題

II. 研究成果の発表

2. 学会誌等発表および投稿状況

発表者名	発表課題名	発表雑誌名
高見寿隆	オゾンと負イオン発生下の冷温高湿貯蔵によるビワ、茂木、果	グリーンレポート NO. 401. 2-3. 2003. 5
高見寿隆	改良ガス透過量調節フィルムを用いたMA包装によるビワ果実の鮮度保持法	九州沖縄農業の新技术 第16号137-141 2003. 12
高見寿隆	オゾンと負イオン発生下の冷温高湿貯蔵によるビワ、茂木、果実の鮮度保持	果実日本・58巻9月号 74-76 2003. 9
高見寿隆	ビワの寒害とその対策について	果実日本・58巻12月号 54-55 2003. 12
高見寿隆	豊産性ビワ品種「麗月」の栽培特性	長崎県試験研究発表要旨 2003. 11
高見寿隆	MA包装によるビワ「茂木」果実の鮮度保持	園芸学会誌 72 別2 494 2003. 9
古川 忠	「させぼ温州」の早期樹冠拡大のための新梢管理法	九州農業研究 第66号 244 2004. 5
古川 忠	「させぼ温州」の早期樹冠拡大のための新梢管理法	園芸学会九州支部11号 7 2003. 9
田中 実	スモモの棚仕立て・雨除け栽培における主要品種の特性と果実品質	園芸学会九州支部11号 7 2003. 9
谷本恵美子	短しょうせん定による大粒系ブドウの無核化技術の確立	長崎県試験研究発表要旨 2003. 11
寺井理治・稗圃直史・福田伸二	ビワ新品種「麗月」	園芸学会誌 雑72別1、75, 2003
稗圃直史、佐藤義彦、福田伸二、寺井理治	ビワがんしゅ病C系統菌に対する抵抗性の遺伝	園芸学会誌 雑72別2、534, 2003
福田伸二、稗圃直史、山本俊也、寺井理治、根角博久、富永由紀子、福田伸二、	ビワがんしゅ病抵抗性遺伝子PseAと連鎖するDNAマーカーの開発	園芸学会誌 雑72別2、529, 2003
稗圃直史、寺井理治、長門潤、中尾敬、根角博久	ビワがんしゅ病抵抗性台木素材として注目すべきビワ遺伝資源「シャンパン」	園芸学会誌 72別2、354, 2003
根角博久、吉田俊雄、平林利郎	自家不和合性によるカンキツの無核品種育成法に関する研究 2. はやさき(Citrus grandis Osbeck × C. grandis Osbeck)の自殖後代に分離したホモ系統を用いた受粉試験による自家不和合性品種のS遺伝子型の推定	園芸学会誌 雑72別2、318, 2003
福田伸二	早熟で食味の良いビワ新品種「麗月」	農耕と園芸 7月号 163-165、 2003.

Ⅲ. 長崎県の気象概況

4月：雨や曇の日が多く、気温・降水量とも平年を上回った。

上旬は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日多く、日照時間は各地で平年を下回った。1日には前線を伴った低気圧が九州南岸を通過したため、県の南部を中心に雷を伴った大雨となり、口之津52mm、野母崎51mm、7日には黄海に前線を伴った低気圧が発生したため、福江46mm、有川35mmの日降水量をそれぞれ観測した。

中旬は、移動性高気圧に覆われたり、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、期間を通して気温が平年を上回って通過し、各地で旬の平均気温は平年より1.6～3.0℃と高くなり、4月下旬から5月上旬の暖かさとなった。11日には黄海に発生した低気圧により有川で49mm、19日には日本海の低気圧から延びる前線が九州北部に停滞したため、五家原岳67mm、雲仙岳59mm、国見山56mmの日降水量をそれぞれ観測した。

下旬は、前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、降水量は各地で平年を上回って平年比115～307%となった。日照時間が平年比71.5～91.0%に留まり、平均気温は前線や低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだため、平年を上回る所が多かった。23日から25日かけて低気圧の通過や前線が停滞したため各地で大雨となり、24日には雲仙岳119mm、口之津85mm、島原80mm、25日には厳原87mmの日降水量を観測した。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：14.5℃、降水量：154.5mm)

5月：下旬に台風4号の接近で、五島・対馬で大雨となった。

上旬は、期間の初めと終わりに高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、日照時間は平年を上回る所が多かった。期間の中頃の4日から8日にかけては気圧の谷や前線を伴った低気圧の影響で曇りや雨となり、7日には厳原で54mmの日降水量を観測した。寒冷前線が南下した8日以降、気温は平年より低くなったものの、それまでは平年より高く経過したため、旬の平均気温は平年を上回る所が多かった。

中旬は、気圧の谷や前線の影響で曇りや雨の日が多く、旬の日照時間は各地で平年を下回った。13日から15日にかけては大陸から延びだした前線や前線上に発生した低気圧の影響で、各地でまとまった降水となり、14日には厳原で90mm、国見山で55mmの日降水量を観測した。

下旬は、台風第4号が九州に接近したため、県内では五島と対馬で大雨となり、厳原、福江、有川では旬の降水量が200mmを超えた。26日に南シナ海で発生した台風第4号は、九州の南海上を北上した後、31日5時頃に四国の宇和島市付近に上陸。同日9時頃に温帯低気圧となった。台風の北上に伴って、30日には厳原197mm、鰐浦142mm、有川161mm、福江137mmの日降水量を観測した。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：18.5℃、降水量：99.5mm)

6月：9日に入梅、中・下旬は雨や曇の日が多く、日照時間が平年を下回った。

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、旬の日照時間は各地で平年を大きく上回って、平年比141.9～198.7%を観測した。福岡管区気象台は、長崎県を含む九州北部地方が、9日頃に梅雨入りしたとみられると発表した。(平年：6月5日頃、昨年：6月10日頃)また、1～8日にかけては県内すべての観測所で降水量がなく、平年比0～18%に留まった。

中旬は梅雨前線や低気圧、台風第6号の影響により雨の日が多く、降水量は平年比110～351%、日照時間は平年比33.9～66.4%となった。12日には低気圧の通過で厳原124mm、18日には梅雨前線の活発化で福江112mmのそれぞれ100mmを超える日降水量を観測した。19日は台風第6号が五島の西海上を北上して対馬付近を通過したため各地で暴風雨となり、福江で最大瞬間風速41.2m/sを観測した。

下旬は、梅雨前線や低気圧の影響で雨や曇りの日が多く、各地で旬の降水量が100mmを超え、雲仙岳では269mmに達した。また、23日には五家原岳で106mm、28日に雲仙岳95mmの日降水量をそれぞれ観測した。期間の中頃、梅雨前線が九州の南海上に南下したため各地で日照が観測されたが、旬の日照時間は壱岐・対馬を除き平年を下回った。

※(大村 - 観測地点は果樹試験場 平均気温：20.8℃、降水量：249.0mm)

7月：梅雨前線の停滞で雨や曇の日が多く、降水量が平年を上回り、平年より遅い梅雨明けとなった。

上旬は、梅雨前線が九州北部から対馬海峡にかけて停滞する日が多かったため、雨や曇りの日が多かった。梅雨前線に近かった厳原では旬の降水量322mmを観測したほか、鰐浦、芦辺、有川、大瀬戸では200mmを超えるなど、平年を上回る所が多く、逆に南部では野母崎7mm、口之津16mm、長崎29mmに留まって平年を下回った。日照時間は各地で平年を大きく下回り、平年比4～45%でかなり少なかった。

Ⅲ. 長崎県の気象概況

中旬は、梅雨前線の影響で雨や曇りの日が多く、降水量は各地で平年を大きく上回り、雲仙岳の467mmをはじめ、五家原岳、島原、厳原では旬の降水量が300mmを超え、日照時間は各地で平年比46～67%と少なかった。気温は期間を通して平年より低く経過し、平年比-1.1～-2.3℃と低かった。長崎県では6月中旬以降、日照時間の少ない状態が続いたため、11日に「日照不足に関する長崎県気象情報（第1号）」を発表した。

下旬は、期間の前半に梅雨前線の活動が活発なり、21日には福江で169mm、23日には厳原で153mmの100mmを超える日降水量を観測した。気温は平年比-2.1～-0.8℃と平年より低く経過し、日照時間は平年比32.7～94.8%と全般に平年を下回った。福岡管区気象台は、長崎県を含む九州北部地方が、26日頃梅雨明けしたとみられると発表した。（平年：7月18日頃、昨年：7月21日頃）

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：23.7℃、降水量：511.0mm）

8月：後半は前線の活動が活発となり、芦辺の下旬の降水量は500mmを越えた。

上旬は、高気圧に覆われて晴れる日が多かったため、日照時間は平年比105～160%と各地で平年を上回ったが、気温は多くの所で平年を下回った。台風第10号の北上に伴い、雲仙岳では7日に65mm、8日に150mmの大雨となり、旬の降水量は218mmを観測した。3日にフィリピンの東の海上で発生した台風第10号は、発達しながら沖縄の南海上を北上し、7日には沖縄本島北部と奄美大島を通過した。その後は九州の南海上を北東に進み、8日に高知県室戸市付近に上陸した

中旬は、18日までは低気圧や前線の影響で曇りや雨となり、19日以降は太平洋高気圧に覆われて晴れの天気となった。曇りや雨の日が多かったため、平均気温は平年比-2.1～-1.5℃と低く、日照時間は平年比32～89%と平年を下回った。また、降水量はほとんどの所で平年を上回り、17日には平戸105mm、有川101mmの日降水量を観測した。

下旬の前半は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、後半は前線の影響で雨や曇りの天気となった。南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、気温は平年より0.2～1.0℃高く、日照時間は前線の影響で平年比55～81%に留まった。前線の活動が活発となったため、芦辺では30日161mm、翌31日には238mmを観測し、旬の降水量は500mmを超えた。26日には大瀬戸148mm、長浦岳126mmなど100mmを超える日降水量を観測した。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：25.1℃、降水量：292.5mm）

9月：月を通して気温が高く、日照時間は平年を大きく上回り、雨が少なかった。

上旬は、太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多かった。期間を通して気温が高く、平均気温は平年比+2.0～+3.1℃とかなり高く、日照時間は、厳原で平年並だったほかは平年比133～179%と平年を大きく上回った。長崎県では8月31日以降、気温の高い状態が続いたため、4日「高温に関する長崎県気象情報（第1号）」を発表した。

中旬は、期間の初めに台風第14号の影響で大荒れの天気となり、11日に福江で日降水量171mm、12日には厳原で南南東の風46.5m/sの最大瞬間風速を観測した。平均気温は、平年比+0.9℃～+1.6℃と先月から引き続き平年より高い状態で経過した。

下旬は、高気圧に覆われて晴れの日が続いたため、日照時間は各地で平年を大きく上回り、平年比158～184%となった。中頃には気圧の谷の通過で一時的雨となったが、降水量は多い所でも福江7mmにとどまり、県内の約半数の観測所では1mmに満たなかった。平均気温の高い状態が続いていたが、今旬はほぼ平年並となった。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：23.4℃、降水量：89.5mm）

10月：9月中旬以降、高気圧に覆われ晴れの日が多く、各地の降水量はかなり少なかった。

上旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、日照時間は各地で平年比103～153%と平年を上回り、平均気温は平年並から平年より高かった。気圧の谷が接近した6日に弱い雨が降ったものの、今旬の降水量はかなり少なく、観測所19カ所のうち12カ所が1mmに満たなかった。

中旬は、12日から14日かけて低気圧や前線の影響で曇りや雨の天気となり、12日には9月19日以来23日ぶりに10mmを超える日降水量を観測したものの、旬の降水量はすべての観測所で平年を下回り、約半数の観測所では平年比30%にも満たなかった。11～12日は南から暖かい空気が流れ込み、最高気温が30℃を超える所もあった。逆に、17日には放射冷却により各地で冷え込み、11月上旬から中旬並みの最低気温を観測した。

下旬は高気圧に覆われて晴れの日が多かったため、日照時間が各地で平年を上回る平年比136～155%とかなり多かった。28日に寒冷前線が九州北部を南下したため、芦辺、諫早では日降水量10mmを観測したが、県内の約半数の観測所では1mmに満たなかった。長崎県では9月中旬以降、降水量の少ない状態が続いているため、31日に「少雨に関する長崎県気象情報（第1号）」を発表した。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：16.8℃、降水量：8.0mm）

Ⅲ. 長崎県の気象概況

11月：平均気温は高めに推移し、初霜・初氷も平年より遅かった。

上旬は、前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、県南部を中心に旬の降水量が100mmを超えてかなり多かった。日照時間は平年比48～79%と平年より少なかった。南から暖かく湿った空気が入り込んだため、期間を通して気温が高く、平年比+2.5～+3.4℃とかなり高かった。

中旬は、気圧の谷や低気圧、移動性の高気圧が次々と通過し、天気は周期的に変化した。気圧の谷や低気圧の影響でまとまった降水となり、厳原では旬の降水量が150mmを超えるなど各地で平年を上回った。気温は期間を通して平年より高く通過したため、平年比+0.9～+2.5℃と高く、日照時間は平年並か平年をやや下回った。

下旬は、期間の初めに冬型の気圧配置となり気温が平年を下回ったが、寒気の流れ込みは一時的でその後は平年より高く経過し、旬の平均気温は各地で平年比+1.3～+2.5℃と高かった。寒気の流れ込みと放射冷却により23日を中心に各地で冷え込み、初霜を雲仙岳で23日（平年11月9日、昨年11月17日）、厳原で23日（平年11月29日、昨年11月18日）、また初氷を雲仙岳で23日（平年11月17日、昨年10月30日）にそれぞれ観測した。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：14.4℃、降水量：167.0mm）

12月：前半は寒暖の差が激しく、後半は気温・日照とも平年を上回った。

上旬は、高気圧に覆われた期間の前半は気温が高く、冬型の気圧配置となった後半は気温が低かった。6日に日本海の低気圧から延びる寒冷前線が南下した後、冬型の気圧配置となり寒気が流れ込んだ。このため、日平均気温が各地で一気に7℃前後低くなり、寒暖の差が激しかった。日照時間は概ね平年並で、降水量は平年を下回った。

中旬は、冬型の気圧配置となる日が多かったため、平均気温は平年比-0.6～-1.6℃、日照時間は対馬を除くと平年比37～82%となった。強い寒気が流れ込んだ19日には、初雪を長崎（平年12月21日、昨年12月9日）、福江（平年12月24日、昨年12月25日）と厳原（平年12月8日、昨年11月18日）、雲仙岳（平年12月2日、昨年11月8日）で観測した。

下旬は高気圧に覆われる日が多く、平均気温と日照時間は平年を上回った。降水量は平年を下回り、雲仙岳のほかは10mmに満たなかった。初霜を長崎で21日（平年12月7日、昨年11月19日）、福江で28日（平年12月10日、昨年11月19日）、また初氷を長崎で21日（平年12月19日、昨年12月14日）、福江で28日（平年12月21日、昨年11月29日）にそれぞれ観測した。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：7.4℃、降水量：40.0mm）

1月：上旬は好天に恵まれたものの、中・下旬は冬型の気圧配置に覆われた。

上旬は、高気圧に覆われて晴れや曇りの日が多く、平均気温は各地で平年比+0.4～1.9℃、日照時間は平年比110～133%と平年を上回った。気圧の谷が通過したもののまとまった降水にならず、県内各地で降水量は10mmに満たなかった。

中旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、気温は多くの観測所で平年をやや下回った。13日には強い冬型の気圧配置となって各地で大荒れの天気となり、厳原で北西の風26.7m/sの最大瞬間風速を観測した。降水量、日照時間もほぼ平年並みだった。

下旬は、強い冬型の気圧配置となる日が多く、22日には強い寒気の流れ込みにより各地で積雪となり、長崎で4cm、福江で3cmの積雪をそれぞれ観測した。旬の平均気温は、各地で平年を大きく下回り、平年比-2.8～-1.9℃とかなり低かった。

※（大村 — 観測地点は果樹試験場 平均気温：4.3℃、降水量：38.0mm）

2月：上旬は冬型の気圧配置で寒く、中・下旬は高気圧に覆われ晴れの日が多く暖かかった。

上旬は、冬型の気圧配置となる日が多く、寒気の流れ込みにより平均気温は各地で平年比-0.7～-0.2℃と平年を下回り、寒気に伴う雲の流れ込みにより曇りの日が多かったため、日照時間は各地で平年比72～86%留まった。降水量は長崎と野母崎では平年を上回ったが、その他は平年を下回った。

中旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、日照時間は平年比143～205%と平年を大きく上回り、気温は平年比+1.0～+2.8℃だった。14日に寒冷前線が通過、17日に低気圧が日本海を東進、19日に気圧の谷が通過したがまとまった降水とはならず、県内すべての観測所で1mm以上の降水は観測されなかった。

下旬は、高気圧に覆われ晴れて暖かい日が多かったため、気温は平年比+3.0～+4.0℃と平年よりかなり高く、日照時間は平年比212～288%で佐世保では150mmに達した。

Ⅲ. 長崎県の気象概況

3月：上旬は冬型の気圧配置で真冬並み冷え込み、中・下旬は高気圧に覆われ晴れの日が多く暖かった。

上旬は、冬型の気圧配置となって強い寒気が流れ込んだため、3～4日と6～7日にかけては真冬並みの冷え込みとなった。このため、旬の平均気温は各地で平年比 $-2.4\sim-1.1^{\circ}\text{C}$ と低かった。

中旬は、高気圧に覆われ晴れの日が多く、16日には暖かい空気の流れ込みもあって4月下旬から5月上旬の暖かさとなり、旬の平均気温は平年比 $+1.6\sim+2.5^{\circ}\text{C}$ とかなり高かった。また、日照時間は平年比102～153と平年を上回った。17日には寒冷前線が通過したため、厳原で42mm、芦辺で38mmの日降水量を観測したが、旬の降水量は各地で平年比30～88%に留まった。

下旬は、高気圧に覆われて晴れの日が多く、平均気温は平年比 $+0.9\sim+1.7^{\circ}\text{C}$ とかなり高く日照時間は平年比130～166と多かった。21～23日と30日には、低気圧の影響でまとまった雨となり、30日には有川で日降水量75mmを観測した。さくら（ソメイヨシノ）の開花が22日に厳原（平年28日、昨年23日）で、23日に長崎（平年25日、昨年19日）、26日に福江（平年28日、昨年22日）で観測された。

※（大村 - 観測地点は果樹試験場） …… 観測機器設置工事のため一部欠側

参考：長崎県気象月報（長崎海洋気象台）

長崎県果樹試験場気象表

月	平成15年											平年				値降水量 (mm)	
	気温(°C)			最低	最高	平均	降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿度 (%)	風速 (m/sec)	地温(°C)			気温(°C)			
	最高	最低	平均								10cm	30cm	50cm	10cm	30cm		50cm
1	12.6	16.3	9.8	13.9	13.4	14.1	21.0	24.06	76.8	1.7	12.2	17.5	7.3	14.0	14.2	13.9	14.4
2	11.3	16.6	5.8	13.2	13.5	14.3	10.5	33.14	66.8	2.3	13.6	18.6	9.3	15.2	15.1	14.7	35.2
3	13.9	19.1	9.8	14.4	14.5	15.1	2.5	29.07	66.6	2.1	14.1	19.0	9.4	15.7	15.8	15.3	22.3
4	17.2	21.1	12.9	16.5	16.2	16.4	20.0	27.38	74.5	2.6	15.0	20.2	10.4	16.7	16.5	16.0	24.8
5	16.4	20.3	12.4	16.9	16.7	17.4	85.0	27.58	76.2	2.4	15.6	21.1	11.1	17.5	17.4	16.8	22.0
6	16.7	21.0	11.0	18.5	18.1	18.7	15.5	36.75	70.5	2.3	16.8	22.1	12.1	18.4	18.2	17.5	28.5
平均	14.5	19.1	10.3	15.6	15.2	16.0	154.5	29.66	71.9	2.2	14.6	19.8	9.9	16.2	16.2	15.8	147.3
1	17.3	23.9	11.8	18.9	18.5	19.1	1.5	40.32	65.9	1.6	17.1	22.0	12.9	19.0	18.9	18.3	34.0
2	17.2	21.6	13.1	19.7	19.2	20.1	35.0	27.85	75.0	2.5	18.1	22.8	13.5	19.6	19.5	18.8	27.9
3	17.7	21.0	14.9	19.8	19.4	20.3	43.0	29.42	84.4	0.9	18.8	23.5	14.2	20.4	20.2	19.6	33.2
4	18.6	23.8	14.3	20.7	20.2	20.7	0.0	33.08	71.2	1.1	18.5	23.6	13.8	20.6	20.5	19.9	37.5
5	19.1	23.9	14.7	21.2	20.6	21.5	9.5	32.46	66.4	1.7	19.7	24.7	14.6	21.5	21.2	20.6	17.1
6	20.8	24.8	17.0	22.2	21.3	22.1	10.5	35.44	71.1	2.3	20.4	25.2	15.7	22.2	21.9	21.2	26.5
平均	18.5	23.2	14.4	20.5	19.9	20.7	99.5	33.17	72.3	1.7	18.8	23.6	14.1	20.5	20.3	19.7	176.1
1	19.4	25.5	13.7	22.3	21.5	22.5	0.0	39.34	62.5	1.6	21.2	26.0	16.6	22.8	22.5	21.6	30.1
2	21.2	27.4	15.9	23.2	22.5	23.2	5.5	37.39	67.0	1.8	21.7	26.0	17.3	23.4	23.1	22.4	34.5
3	20.8	23.7	18.0	23.3	22.6	23.6	14.5	32.38	80.4	1.6	22.9	26.1	18.1	23.7	23.4	22.8	42.0
4	20.6	23.1	18.7	22.4	21.9	23.2	107.5	31.71	89.1	2.2	22.5	26.5	19.0	24.2	23.8	23.3	61.3
5	21.1	23.3	18.6	23.1	22.6	23.7	63.0	32.80	87.1	2.2	22.9	26.5	19.7	24.5	24.2	23.7	71.3
6	20.4	24.8	16.3	23.4	23.0	24.1	58.5	33.97	82.9	2.7	23.7	27.0	20.7	24.9	24.6	24.1	101.3
平均	20.8	24.7	17.2	23.0	22.3	23.4	249.0	34.60	78.2	2.0	22.3	26.3	18.6	24.9	23.6	23.0	340.4

平年値は1971年～2000年の平均

月	半旬	平 成 1 5 年										平 年 値							
		気 温 (°C)			降 水 量 (mm)	日 射 量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降 水 量 (mm)				
		平 均	最 高	最 低					1 0 cm	3 0 cm	5 0 cm	平 均	最 高	最 低		1 0 cm	3 0 cm	5 0 cm	
7	1	22.1	24.0	20.2	12.5	33.83	89.9	2.7	24.6	27.8	21.7	23.2	22.7	24.0	24.0	25.7	25.3	24.6	69.0
	2	25.0	27.4	22.5	70.0	38.80	83.8	3.2	25.5	29.1	22.4	24.9	24.4	24.9	24.9	27.1	26.4	25.5	53.8
	3	22.8	25.7	20.6	24.5	34.37	83.4	2.5	26.1	29.5	23.2	25.2	24.5	25.8	24.5	26.8	27.0	26.2	48.5
	4	22.9	26.5	19.5	326.5	27.23	81.9	2.8	26.5	30.2	23.3	24.7	23.8	25.4	326.5	27.9	27.3	26.7	68.7
	5	25.4	28.6	22.9	23.5	32.70	83.2	1.7	27.3	31.2	23.9	25.9	25.1	25.3	23.5	28.7	28.2	27.3	39.4
	6	24.2	28.5	20.2	54.0	38.12	78.0	1.5	27.6	31.6	23.9	27.3	26.6	27.5	54.0	28.9	28.5	27.7	40.2
	平均	23.7	26.8	21.0	511.0	34.30	83.2	2.4	26.3	29.9	23.1	25.3	24.5	25.5	511.0	27.5	27.1	26.3	319.6
8	1	26.4	30.9	22.6	1.0	38.58	75.2	1.7	27.7	31.9	24.1	28.4	27.5	28.3	1.0	29.5	28.9	28.2	19.9
	2	24.6	29.1	21.2	49.0	43.35	79.3	2.1	27.2	31.5	23.5	27.6	27.2	28.6	49.0	29.1	28.9	28.3	39.8
	3	22.6	26.0	19.7	56.5	25.60	81.3	1.6	27.4	31.5	23.7	25.9	25.6	27.9	56.5	29.0	28.7	28.6	26.7
	4	25.7	29.4	22.8	16.5	32.66	78.8	1.7	27.1	31.5	23.8	26.8	26.4	27.0	16.5	29.2	28.9	28.3	29.5
	5	26.4	30.6	23.4	15.5	38.05	78.6	1.7	26.7	31.0	23.1	28.5	27.5	28.4	15.5	28.7	28.6	28.2	34.5
	6	25.2	28.3	22.3	154.0	32.78	84.7	2.1	26.5	31.6	22.9	26.9	26.4	28.2	154.0	28.3	28.3	28.0	60.7
	平均	25.1	29.0	22.0	292.5	35.09	79.8	1.8	27.1	31.3	23.5	27.3	26.8	28.1	292.5	29.0	28.7	28.3	211.1
9	1	26.6	31.1	23.0	0.0	38.94	75.2	1.7	25.5	29.9	21.9	28.4	27.9	28.9	0.0	27.8	27.9	27.8	39.4
	2	25.9	30.5	22.3	39.5	35.74	76.9	1.8	25.2	29.4	21.3	28.3	28.1	29.5	39.5	27.1	27.4	27.4	36.9
	3	23.6	27.3	20.5	50.0	33.89	77.0	3.1	24.1	28.5	20.3	26.5	26.5	28.5	50.0	26.2	26.7	26.8	34.2
	4	23.6	28.0	19.9	0.0	30.98	72.2	2.0	23.3	27.8	19.3	26.1	26.0	27.7	0.0	25.6	26.1	26.3	23.8
	5	20.6	24.8	16.9	0.0	34.61	64.7	1.9	22.5	26.8	18.8	24.5	24.8	27.0	0.0	24.9	25.6	25.6	28.8
	6	20.2	26.5	14.9	0.0	38.58	62.1	1.6	21.4	25.9	17.3	23.5	24.1	26.2	0.0	24.0	24.7	25.0	28.7
	平均	23.4	28.0	19.6	89.5	35.46	71.3	2.0	23.7	28.1	19.8	26.2	26.4	28.0	89.5	25.9	26.4	26.5	191.8

平年値は1971年~2000年の平均

月 半旬	平 成 1 5 年											平 年 值					
	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)
	平均	最高	最低	10cm	30cm	50cm					平均	最高	最低	10cm	30cm	50cm	
10 月	18.7	24.4	14.4	22.2	23.0	25.2	0.0	35.75	64.0	1.9	20.9	25.9	16.6	23.4	24.1	24.4	10.5
2	19.2	24.4	15.5	21.8	22.2	24.4	0.0	31.91	65.8	1.5	19.6	24.2	15.3	22.1	23.2	23.7	10.6
3	19.5	24.2	15.6	22.5	22.4	24.4	8.0	31.55	72.1	1.8	19.4	24.3	15.0	21.5	22.5	22.7	17.6
4	15.1	21.6	10.2	19.7	20.3	23.1	0.0	34.09	62.8	1.9	18.2	22.9	13.8	20.5	21.7	22.2	17.0
5	14.5	20.3	9.4	18.8	19.2	22.0	0.0	33.37	60.2	2.2	17.2	22.3	12.5	19.4	20.7	21.4	8.0
6	14.4	20.5	8.8	17.9	18.3	20.8	0.0	31.65	63.8	2.3	16.3	21.1	12.0	18.7	19.9	20.6	17.4
平均	16.8	22.5	12.2	20.4	21.0	23.2	8.0	33.01	64.7	1.9	18.6	23.5	14.2	20.9	22.0	22.5	81.1
11 月	17.2	20.7	14.2	19.1	18.8	20.7	102.5		86.9	1.0	15.4	20.6	10.9	17.5	18.9	19.5	11.5
2	17.2	21.6	13.5	18.9	18.6	20.5	8.0		82.7	1.1	15.2	20.2	11.2	17.2	18.4	19.0	12.9
3	13.6	17.1	9.5	17.0	17.1	19.9	11.5		75.0	1.9	13.9	18.5	10.0	16.1	17.5	18.3	11.1
4	14.2	18.6	9.4	16.2	16.3	18.7	34.5		73.7	1.4	12.8	17.4	8.7	15.1	16.6	17.5	13.0
5	10.3	15.3	5.2	14.8	14.9	17.9	3.0		65.0	1.9	11.4	16.2	6.9	13.6	15.5	16.6	14.8
6	13.7	18.0	10.2	15.1	14.8	17.0	7.5		77.2	1.2	10.5	15.2	6.6	13.0	14.6	15.7	12.2
平均	14.4	18.5	10.3	16.8	16.9	19.1	167.0		76.7	1.4	13.2	18.0	9.1	15.4	16.9	17.8	75.4
12 月	10.8	15.8	6.8	13.9	14.4	16.8	1.5		63.6	1.6	9.7	14.5	5.6	11.9	13.6	14.7	8.3
2	7.6	12.2	3.6	12.0	12.4	15.5	14.5		65.6	1.9	9.2	14.1	5.4	11.4	12.9	14.1	11.1
3	6.7	10.2	3.7	10.3	10.9	13.9	16.0		64.4	1.9	8.1	12.7	4.2	10.5	12.3	13.4	6.3
4	5.3	9.1	2.2	9.3	9.8	12.9	5.0		62.4	2.6	7.6	12.2	3.8	9.9	11.5	12.8	10.3
5	8.1	13.6	3.9	9.1	9.5	11.9	0.0		68.6	1.8	7.3	12.0	3.7	9.5	11.0	12.2	9.6
6	6.1	10.1	2.5	8.9	9.2	11.7	3.0		69.0	2.3	6.8	11.4	2.9	8.9	10.4	11.7	10.0
平均	7.4	11.8	3.7	10.5	11.1	13.7	40.0		65.7	2.0	8.1	12.8	4.3	10.4	11.9	13.1	55.6

平年値は1971年～2000年の平均

月	平 成 1 6 年											平 年 值						
	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)	日射量 (MJ)	湿 度 (%)	風 速 (m/sec)	気 温 (°C)			地 温 (°C)			降水量 (mm)	
	平均	最高	最低	10cm	30cm	50cm					平均	最高	最低	10cm	30cm	50cm		
	半旬																	
1	6.8	11.8	3.5	9.1	9.3	11.6	3.5		70.1	1.7		6.5	11.3	2.8	8.7	10.1	11.3	13.5
2	5.9	11.0	1.8	8.3	8.5	11.1	0.0	69.6	1.4		6.4	10.8	2.8	8.3	9.8	10.5	10.5	9.3
3	4.3	8.9	0.1	7.7	8.0	10.6	3.5	62.4	2.0		5.7	10.0	2.2	7.9	9.4	10.4	10.4	12.2
4	4.5	7.6	1.8	7.3	7.5	9.9	28.5	74.0	1.4		5.5	9.8	1.9	7.6	9.1	10.2	10.2	9.5
5	0.2	3.0	-2.7	5.9	6.6	9.3	2.5	72.6	1.9		5.5	9.8	1.8	7.5	8.8	9.9	9.9	15.1
6	3.9	9.2	-0.6	6.4	6.5	8.8	0.0	67.1	1.7		5.0	9.8	1.3	7.4	8.7	9.7	9.7	6.3
平均	4.3	8.6	0.6	7.4	7.8	10.2	38.0	69.2	1.7		5.8	10.2	2.1	7.9	9.3	10.3	10.3	65.9
1	4.7	8.2	1.4	7.5	7.5	9.5	5.0	67.7	2.1		5.2	9.6	1.5	7.3	8.6	9.5	9.5	12.4
2	3.4	7.9	-0.1	6.5	6.9	9.2	2.0	62.9	1.9		5.7	10.3	2.0	7.7	8.8	9.6	9.6	9.8
3	6.9	13.1	1.6	7.8	7.7	9.5	0.0	60.7	2.4		6.9	11.7	2.7	8.2	9.1	9.8	9.8	14.7
4	9.2	14.7	3.2	8.5	8.4	9.9	0.0	69.6	1.4		6.6	11.3	2.8	8.6	9.4	10.1	10.1	22.2
5	10.2	15.0	4.9	10.8	10.3	11.4	19.0	68.3	2.9		6.7	11.4	2.9	8.8	9.6	10.2	10.2	16.5
6	8.8	14.2	3.7	10.2	10.1	11.7	45.0	66.8	2.6		6.9	11.5	3.0	9.0	9.8	10.3	10.3	10.0
平均	7.0	12.1	2.4	8.5	8.3	10.2	71.0	66.0	2.2		6.3	11.0	2.5	8.3	9.2	9.9	9.9	85.6
1	5.0	9.1	0.7	9.5	10.0	11.8	6.0	62.4	2.3		7.7	12.4	3.4	9.4	10.3	10.7	10.7	16.1
2	6.0	10.7	1.1	8.3	8.9	10.7	1.0	65.3	2.9		8.8	13.9	4.4	10.3	10.8	11.1	11.1	15.8
3	10.0	15.7	4.2	10.7	10.6	11.8	7.5	63.8	1.5		9.2	14.0	4.9	10.8	11.4	11.6	11.6	23.9
4	11.5	16.0	6.5	12.1	12.0	12.8	9.0	67.3	2.5		9.8	14.8	5.3	11.4	12.0	12.1	12.1	16.1
5							44.0	62.0	2.0		10.4	15.3	6.2	12.2	12.7	12.7	12.7	21.2
6	14.2	21.8	7.1								11.6	16.2	7.4	13.0	13.3	13.2	13.2	24.4
平均											9.6	14.4	5.3	11.3	11.8	12.0	12.0	117.5

平年値は1971年～2000年の平均

IV 試験研究課題

I. ミカンの生産安定及び品質の向上

土壌の排水促進、細根の増加、樹体栄養調節等による高品質果実の多収技術を確立する

1. 極早生温州のマルチ栽培における樹体機能変動の解明と連年安定生産技術の開発

(1) 樹体機能調節による連年安定生産技術の開発 (県単)

① 樹体栄養調節と樹勢安定化技術 平13~15 常緑果樹科

II. ミカンの商品性の向上

地域に適した品種、施設栽培管理法等を明らかにして、安定多収と商品性の向上を図る

1. 温州ミカンの新品種の適応性 (県単)

(1) 新系統の特性

① 本県への適応性 昭49~ 常緑果樹科

2. 温州ミカンの施設栽培における改植園の早期多収栽培技術の確立 (県単)

(1) 樹体管理技術

① 好適整枝法の解明 平12~15 常緑果樹科

② 根域制限法 平12~15

(2) 着花向上技術

① 着花向上法 平13~15 常緑果樹科

3. させぼ温州の早期樹冠拡大と高品質果安定多収技術 (県単)

(1) 早期高品質果多収のための栽培管理法

① 高接ぎ樹の高品質果安定多収法 平13~15 常緑果樹科

(2) 早期安定生産のための肥培管理法

① 結果樹に対する適正施肥量 平12~15 常緑果樹科

(3) 病害虫の発生特性

① 生育期の病害虫発生相の消長 平11~15 病害虫科

② 肥培管理と果実腐敗 平12~15

III. ミカン病害虫の防除

果樹主要病害虫の効率的な防除技術を確立する

1. 果実腐敗の発生要因の解明と効率的防除法の確立

(1) 腐敗果の発生実態調査及び発生メカニズム (県単)

① 現場での発生実態調査 平11~15 病害虫科

② 病原菌の同定と耐性菌検定 平11~15

③ 腐敗果の発生と耕種条件 平11~15

(2) 効率的防除体系の確立

① 総合防除体系の策定 平13~15 病害虫科

2. カンキツ病害虫の防除法

(1) 新殺菌剤の防除効果 (委託)

① 黒点病 昭59~ 病害虫科

② 灰色かび病 昭59~

(2) 新殺虫剤の防除効果

① ハダニ 昭59~ 病害虫科

② 薬害 昭59~

IV 試験研究課題

3. 集合フェロモンを利用した果樹カメムシ類の環境保全型防除技術の開発 (国庫 新技術)
- (1) 生物的防除法を利用したカメムシ密度低減技術
- ① カメムシに対する天敵類の寄生率向上技術 平14～15 病害虫科
- (2) 総合的被害軽減技術の確立
- ① 集合フェロモン、天敵、各種資材を組み合わせた被害軽減技術の開発 平14～15 病害虫科

IV. 少資材・少労力栽培技術体系による高品質果実の生産 (国庫 地域基幹)

少資材、少労力による品質保証果実生産技術を確立する

1. 温州ミカンの品質保証果実の少資材・低コスト生産体系の確立

- (1) 品質保証果実の安定供給に向けた産地体制の強化
- ① 非破壊選果機の導入効果と有効活用法 平11～15
- ② コスト低減のための流通改善の展開方向 平11～15
- (2) 品質保証果実の低樹高・少資材生産技術の開発
- ① 品質保証果実の安定生産法 平11～15
- ② 低樹高栽培技術の確立 平11～15
- ③ 環境保全型栽培技術の開発 平11～15
- (3) 品質保証果実の低コスト栽培の現地実証と経営評価
- ① 土壌水分制御システムの現地実証 平11～15
- ② 少資材栽培の現地実証 平11～15

常緑果樹科
病害虫科
総合農林試験場

熊本農研センター
果樹研究所
福岡県農総試
園芸研究所
大分県柑橘試験場

2. 果樹園における植物調節剤の利用法 (委託 日植調)

- (1) 植物調節剤の実用化
- ① 常緑果樹の除草剤、生育調節剤の実用化の検討 昭52～ 常緑果樹科
- ② 落葉果樹の除草剤、生育調節剤の実用化の検討 平 3～ 落葉果樹科

V. 中晩生カンキツの生産安定及び品質向上

中晩生カンキツの高品質安定生産による産地拡大

1. 有望中晩生カンキツの栽培技術の確立 (県単)

- (1) 新系統の適応性
- ① 新系統の適応性 平11～15 常緑果樹科
- (2) “はるみ”等の結実管理技術の確立
- ① 摘果方法と果実肥大、形質 平12～15 常緑果樹科
- (3) “不知火”等の糖酸調整技術の確立
- ① 土壌水分管理法 平13～15 常緑果樹科
- ② 温度管理法 平13～15
- (4) 収穫果実の品位向上法
- ① “天草”等の長期貯蔵法 平12～15 常緑果樹科

VI. ビワの新品種育成による生産の拡大

新品種の育成・導入によって経営規模の拡大と新産地の育成を図る

1. ビワの育種

- (1) 交雑による新品種の育成 (国庫指定助成) 育種科
- ① 品種の収集、保存 昭48～
- ② 新品種の育成 昭48～
- (2) 放射線照射による新品種の育成 (国庫指定助成)
- ① 新形質の獲得 昭48～

(3) 育種関連技術の確立	(国庫指定助成)
① わい性台木の探索	昭47～
② 育種年限短縮	昭48～
③ 果実形質の遺伝様式の解明	平 7～
④ 組織培養	昭48～
⑤ 耐病性検定法	昭53～
(4) 組織培養系を利用した倍数体品種の育成	(国庫指定助成)
① 倍数体系統作出法及び選抜法	平 7～
(5) ビワ新系統の特性	(県 単)
① 本県への適応性	平 9～
② ハウス栽培用系統の選抜	平14～

VII ビワの生産の安定と品質の向上

立地条件や気象条件に応じた栽培管理技術を確立し、生産性と商品性の向上を図る

1. ビワ新品種「涼風」、陽玉」の栽培技術の確立	(県 単)	常緑果樹科
(1) 早期多収技術		
① 適正結実量の検討	平12～15	
(2) 果実の商品性向上技術		
① 果実の肥大特性	平12～15	
② 果実の成熟と品質	平13～15	
③ 果皮障害防止法	平13～15	
(3) ビワの鮮度保持に関する技術開発と作業性改善のための新しい仕立て法の確立		
① 鮮度保持技術	平11～15	
② 低樹高、高作業性整枝法	平11～15	
2. 早期出荷型施設ビワ栽培の技術体系化と良食味果実の安定生産法の確立	(県 単)	常緑果樹科
(1) 早期出荷型の技術体系化		
① 樹体環境や樹体栄養等が花芽分化に及ぼす影響	平13～17	
② 高温期の受精率向上技術の開発	平13～16	
③ 冬期の地温上昇が果実肥大に及ぼす影響の解明	平14～15	

VIII. 落葉果樹の生産安定及び品質向上

1. 落葉果樹の新品種の適応性	(県 単)	落葉果樹科
(1) ナシ新品種の特性		
① 本県への適応性	平 5～	
2. 気象及び樹体情報による長崎県の地域特性を活かした落葉果樹生産技術の確立	(県 単)	落葉果樹科
(1) 気象情報を利用した生育予測システムの開発		
① 各樹種の休眠覚醒時期の解明	平14～16	
② 樹体生育時期の予測システムの開発	平14～16	
(2) 樹体情報などを利用した果実肥大・品質予測システムの開発		
① 摘果指標の開発	平15～17	
② 果実肥大、着花(果)、形質向上の要因解明と予測法	平15～17	
(3) 気象・樹体情報に基づく適地判定法の開発		
① 各樹種の生育時期マップの作製	平14～15	
② 新品種・有望品種の導入による労力分散モデルの開発	平15～17	
(4) 生育・品質予測値を用いた栽培技術の体系化と経営評価		
① 体系化された栽培管理技術の組立実証と経営評価	平16～18	

IV 試験研究課題

- | | | |
|----------------------------------|----------|-------|
| 3. 新整枝法による落葉果樹管理作業の軽労化と多収技術の開発 | (県 単) | 落葉果樹科 |
| (1) 新整枝法による樹体生育と早期成園化 | | |
| ① 整枝法の検討 | 平14～16 | |
| ② 幼木期の樹冠拡大とせん定方法の確立 | 平16～18 | |
| ③ 新しょう管理法と結果枝確保技術 | 平18～19 | |
| (2) 新整枝法における多収技術の確立 | | |
| ① 適正生育相の解明 | 平14～16 | |
| ② 結実管理技術の確立 | 平16～19 | |
| 4. 暖地落葉果樹の根域環境改善による環境保全型樹勢強化法の確立 | (県 単) | 落葉果樹科 |
| (1) ナシ「幸水」の根域管理技術 | | |
| ① 根量増加技術の確立 | 平15～18 | |
| (2) ハウスモモの根域管理技術 | | |
| ① 適正施肥法の確立 | 平14～18 | |
| 5. 落葉果樹の重要病虫害防除法 | (委託 日植調) | 病虫害科 |
| (1) ナシの病虫害の防除 | | |
| ① 病気及び害虫 | 昭59～ | |
| (2) ブドウの病虫害の防除 | | |
| ① ウイルス無毒化 | 昭59～ | |
| (3) モモの病虫害の防除 | | |
| ① 病気及び害虫 | 昭59～ | |

IX. 優良健全母樹の育成と特殊病虫害調査

果樹ウイルスを無毒化し健全母樹の育成や優良健全苗木の供給、異常発生及び新規発生病虫害についてその実態を調査し、原因究明とその対応策を確立する

- | | | |
|-----------------------------|-------|------|
| 1. 果樹ウイルス抵抗性健全母樹の育成と特殊病虫害調査 | (県 単) | 病虫害科 |
| (1) ウイルス無毒化 | | |
| ① ウイルス無毒化 | 昭59～ | |
| (2) 無毒ウイルスの利用 | | |
| ① 弱毒ウイルスの探索 | 昭59～ | |
| ② ウイルス免疫苗の育成 | 昭59～ | |
| (3) 異常発生原因の究明 | | |
| ① 病気及び害虫 | 昭59～ | |
| (4) 新発生原因の解明 | | |
| ① 病気及び害虫 | 昭59～ | |

X. その他 行政要望課題等

1. ブドウの作業管理、省力化技術の実証

(1) 作業管理技術の改善による省力化

- | | | |
|--------------|--------|----------------|
| ① ブドウ摘粒技術の改善 | 平15～16 | 落葉果樹科
(新営農) |
|--------------|--------|----------------|

2. 果樹カメムシの発生予察効率化

(国庫 特殊調査)

病虫害科

(1) 集合フェロモントラップによるカメムシ類の発生予察と果樹の被害予測

- | | | |
|-----------------------------------|--------|--|
| ① 集合フェロモントラップへの飛来消長による越冬成虫の加害時期推定 | 平13～16 | |
|-----------------------------------|--------|--|

IV 試験研究課題

②チャバネアオカメムシ新成虫の果樹園への飛来時期予測	平13~15	
(2)ヒノキきゅう果によるチャバネアオカメムシの飛来予測		
①ヒノキきゅう果の口針鞘数によるヒノキからの離脱予測	平13~16	
②ヒノキきゅう果の口針鞘数による果樹園への飛来時期予測	平13~16	
(3)飛来予測に基づいた防除体系の検討		
①果樹園への飛来予測モデルに基づく防除体系の検討	平15~16	
3. 特定果樹の栽培法		
特定果樹生産指導のための試作開発調査を行い経営改善と新産地の育成を図る	(県 単)	落葉果樹科 (農産園芸課)
(1)新果樹の試作		
①種類の適性	昭58~	
②栽培法の実証	昭58~	
4. 樹園地における未利用資源活用技術の開発	(国 庫)	常緑果樹科
未利用資源リサイクルのための技術を開発し、安全な樹園地管理のための剪定枝の活用マニュアルを策定する		
(1) 果樹剪定枝の堆肥化技術の確立		(農産園芸課)
①剪定枝の堆肥化促進法	平14~16	
②剪定枝堆肥の品質評価法	平14~16	
(2) 剪定枝堆肥の樹園地への施用法の確立		
①剪定枝堆肥施用量と収量・品質の関係解明	平15~16	
5. 非破壊検査手法を取り入れた農作物の高品質栽培技術の確立	(県単)	連携プロジェクト
高品質果実の効率的な栽培管理技術の確立や果樹の生理活性の解明等に資するため、非破壊により生育中の体内情報を得る手法を開発する。		
(1)ミカンを対象とした非破壊検査による水分ストレス装置の開発		常緑果樹科 総合農林試験場 工業技術センター その他
①従来手法による水分ストレスの測定実験	平15~16	
②試作測定装置の実地試験	平16	
(2)ミカン果実を対象としたレーザー糖度計の開発		
①試作レーザー糖度計の性能評価	平16	
(3)ミカン高品質栽培管理のための水分管理支援システムの開発		
①高品質栽培支援システムのアルゴリズムの開発	平16	
②高品質栽培支援システムのフィールドテスト	平17	

印 刷 平成 1 6 年 9 月

発 行 平成 1 6 年 9 月

編 集 長崎県果樹試験場

発行人 寺 井 理 治

発行所 長崎県果樹試験場

〒 856-0021 長崎県大村市鬼橋町 1370

Tel 0957-55-8740

Fax 0957-55-6716

印刷所 (有) 合 同 印 刷

長崎県大村市荒瀬町1101 -1